

平成23年度 当初予算の概要をお知らせします

一般会計 464億円

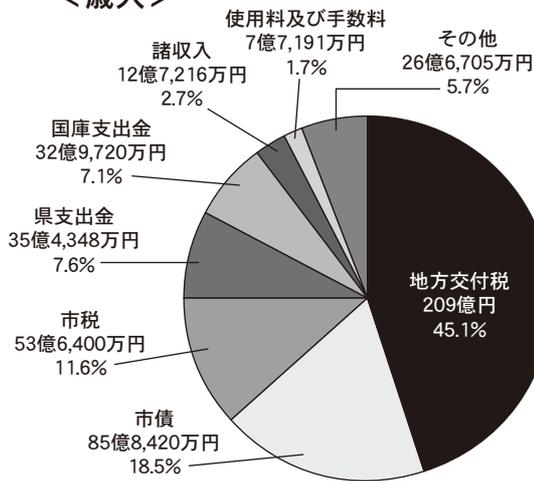
予算のポイント

- ① 島内経済の「下支え」としての普通建設事業の増額確保による積極的予算措置を行いました。
- ② 重点政策事業 6.4 億円による成長戦略の実効性の確保に努めました。
- ③ 基金残高の確保による継続した財政安定化の堅持に努めました。

平成23年度の当初予算は、一般会計で464億円（前年度比43億7千万円の増）、特別会計を合わせた総額で671億8464万円（前年度比37億1022万円の増）となりました。平成23年度当初予算は、行財政改革や戦略的な成長力投資戦略をまとめた「佐渡市将来ビジョン」に沿って取り組み、佐渡の豊かな自然の恵みを活かした産業おこしと、佐渡の魅力を活かした賑わいの島づくりを基本とした「成長力強化戦略」を柱に予算編成を行いました。

◆一般会計

<歳入>



その他には、地方譲与税 (6億円)、地方消費税交付金 (6億円)、分担金及び負担金 (3億8,280万円) などがあります。

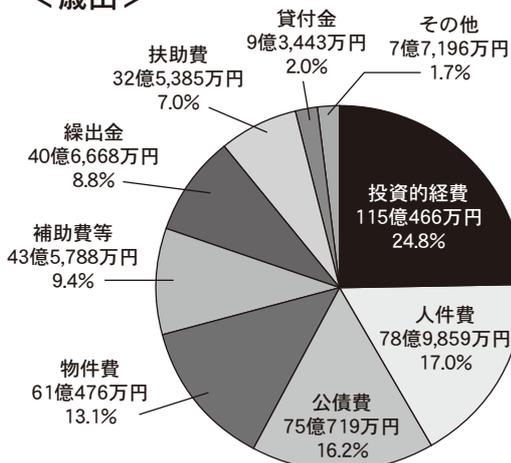
歳入の概要

- ・ 地方交付税の増
- ・ 合併特例債事業の実施による市債の増
- ・ 景気の低迷などによる市税の減
- ・ 介護施設の整備などによる県支出金の増
- ・ 小中学校の統廃合に伴う整備などによる国庫支出金の増
- ・ 市の貯金である財政調整基金の取り崩しは行いません

◎市税の内訳 ※ () 内は前年度との比較

市民税	固定資産税	軽自動車税	市たばこ税	入湯税
20億8,845万円 (▲5,565万円)	26億9,649万円 (▲487万円)	2億175万円 (+194万円)	3億403万円 (▲703万円)	7,329万円 (▲643万円)

<歳出>



その他には、積立金 (2億7,364万円)、投資及び出資金 (2億3,359万円)、維持補修費 (2億2,473万円) などがあります。

歳出の概要

- ・ 陸上競技場整備事業、両津港埠頭地区開発事業などの合併特例債事業の増による投資的経費の増
- ・ 職員の適正配置などによる人件費の減
- ・ 償還期間の終了などによる公債費の減
- ・ 中山間地域等直接支払制度の拡充に伴う補助費等の増